



特集  
日本で暮らして



よつばの手紙

現場の芽  
市内企業レポート  
行ってきました  
さんかく図書室  
人のわ



青梅市男女平等情報紙 No.22

# 日本で暮らして

2020年はオリンピック・パラリンピックイヤーです。世界にはたくさんの国があり、さまざまな文化や生活様式があり、多様な価値観や考え方をもった人々が暮らしています。今回は、海外から日本にきて暮らしている人から、外国の生活環境とくらべてみた青梅市のこと、日本のことなどをうかがってみました。



青梅市在住、水墨画家コール・ノートンさん、写真家ノートン晶さんにお話をうかがいました。



写真右：コール・ノートンさん  
写真左：ノートン 晶さん

Q どうして青梅市で暮らすようになったか

2004(平成16)年にアメリカで美術学士を取得し、人物デザインの指導などを行いながら6年間の古武道の修行後、日本の本道場で修行するため、初めて来日しました。1年間、古武道の修行や日本語取得に努め、結婚のためアメリカに帰国。2015年に再度来日し福岡、奈良、東京で茶道や日本画、水墨画、篆刻(木・石などの印材に文字を彫ること)を学びました。2017年春に上海出身で青梅市在住の水墨画家白浪氏に師事するために青梅市で暮

らすようになりました。

Q 青梅市での暮らしでどんなところがよいと感じますか

青梅市は自然と文化、歴史ある寺院と温かい地域性に恵まれ、絵を描く環境に適しています。そんな青梅市が好きです。

Q 青梅市での暮らしで困っていることや不便なことはありますか

とくに不便を感じることはありません。日本はよいと思うところが多いので総じて好きです。

Q 日本の文化でよいと感じることはありますか

水墨画、芸子や歌舞伎など素晴らしい芸術文化があるところです。美しいものを作るためには日々の積み重ねが大事です。技術を磨き続け、日々学び続ける、表

からは見えないけれども大事な姿勢と精神性に共感し、私もそうありたいと思います。

Q 日本の女性の強さについて教えてください

アメリカの女性は、起業するなど活動的で個人の力が強いのに対して、日本の女性は集団内で縁の下力持ちとして貢献する力が強いと思います。臨機応変さと効率の良さ、家庭と仕事を両立し、これはすごいことです。女性のスキルを認め、組織や社会で活躍する機会を増やすことで皆の強みを生かす社会になれると思います。

Q 今後の活動について教えてください

毎月西分町の青梅織物工業協同組合での人物デザイン教室と聞修院の庭で絵画教室を行っています。その他アメリカ、スイスでの展示や、青梅での教室展を予定しています。

タイ出身のお二人にお話をうかがいました。お二人とも、日本人との結婚を機に来日しています。



写真後列左：福田オアさん、  
写真後列右：渡辺マニーワンさん、  
写真前列：福田さんの子

福田オアさん、在住歴7年、子と夫の3人暮らし。渡辺マニーワンさん、在住歴12年、夫との2人暮らし。

**Q日本(青梅市)での暮らしは、どんなところがよいと感じますか**

オアさん(タイ)と違って公衆トイレのきれいさと多さに驚きました。妊娠中や赤ちゃん連れで出かける際、「多目的トイレ」はとても助かりました。またどこへ行くにもバスや電車が整備されていて、

車を運転できなくても移動しやすいのが便利です。

マニーワンさん(タイ)それに食べ物新鮮でおいしいと感じます。日本のおじいさんやおばあさんはお話し好きな人が多いので、おつきあいにしやすいと感じています。

**Q逆に不便だと思うことはありますか**

オアさん(タイ)市役所などで言葉が通じないときにやはり不便を感じます。とくに尊敬語や謙譲語を使われると、聞き取るのに大変でときどき聞き間違ってしまうこともあります。遠まわしの言い方ではなく、シンプルにいつてもらうほうがわかりやすいです。私自身もまだ勉強がたりないので、日本語の学習を頑張っています。

マニーワンさん(タイ)腰をいためて前職をやめ、通訳の仕事を探しているのですが、やはり都内が多くこの辺りではなかなか仕事を見つけないことができません。

**Q日本とご出身国の違いを感じることはありますか**

オアさん(タイ)の人は、とてもものんびりで時間にもルーズ。自分自身ものんびり屋で日本に来たときは「なぜそんなに忙しくするのだろう」と思っていました。日本で暮らしているうちに時間に正確になってきて、たまにタイに帰ると周りがのんびりすぎていてイライラしてしまいます。

マニーワンさん(タイ)日本の男性は家族を守るという責任感が強くて尊敬しています。ただそのためにストレスが多いのが気になります。

**Q青梅での子育てはどうですか**

オアさん(タイ)幼稚園での行事やおつきあいが多く、わからないことも多く大変なので、外国人の友人たちとも、よく情報交換しています。タイでもお父さんが働いて、お母さんが家のことをするというカタチが多いですが、最近女性も働く人が増えてきました。ただわ

が家の夫はほとんど家のことをしてくれません。ときどきゴミを出したり、洗濯物を干してくれるくらいです(笑)

**Q青梅の好きな場所はありますか**

オアさん(タイ)子どもは若草公園が大好きでよく遊びに行きます。東青梅センタービルでの外国人日本語講座(無料/テキストは3080円)や、福祉センターで開催されるさざんかの会(月300円)など、費用もあまりかからず日本語を教えてくれる場所がいくつもありとても助かっています。お菓子をふるまってくれたり、皆さんとても温かいです。

マニーワンさん(タイ)吹上のしょうぶ園や、小曾木地区の聞修院です。座禅が好きで、聞修院には毎週通っています。夫と一緒に通っているのですが、夫のストレス解消にも効果的だと感じています。市民センターで薬膳料理なども習っています。

## 現場の芽

### 都市間交流

#### 〜姉妹都市ポツパルト市との交流〜



写真左：本橋大輔さん

ドイツ連邦共和国のラインラントプファルツ州ポツパルト市は、青梅市と姉妹都市としてさまざまな交流活動を行っています。

なかでも「青少年交流事業」として行われている、友好親善使節団の派遣と受け入れは、両市の中心的な事業となっています。

2019（令和元年）は、9月30日から10月10日の日程で、ポツパルト市の使節団を迎えました。

今回、使節団を家庭に受け入れた、本橋大輔さんもとほしだいすけにお話をうかがいました。

**Q 宿泊を受け入れたきっかけを教えてください**

私が中学生のときの英語の恩師がポツパルト市に住んでおり、昨年約20年ぶりに、その恩師を訪

ねて、ポツパルト市に行きました。恩師の家族にとっても温かく迎えられ、さまざまな体験を通じて文化交流をさせていただいたことに感動し、ポツパルト市民にも同じような経験をしてもらいたいと感じたため今回の受け入れを決めました。

**Q 受け入れるにあたって準備したことはありますか**

私の家では二人の女子高校生を受け入れました。食事に関しては、基本的には朝食と夕食を用意するのですが、一般的な家庭料理の他に外食をしながら、日本の食文化を経験してもらいました。とくに回転寿司にはとても興味を持ったようで、楽しそうに食べていました。また、地元の人とも触れ合っただけという思いから隣近所の家族とバーベキューをしました。

**Q 受け入れてうれしかったことは**

**なんででしょうか**

10日間の滞在期間に段々と心を開き、最後には笑って話せるようになったことは私にとってもとてもうれしいことでした。そして、最終日のお別れときには涙で別れを惜しんだことは私にとっても忘れられない思い出になりました。それにしてもグローバル化が進むなか、語学力の必要性を実感しました。

**Q 文化などの違いや何か発見がありましたか**

日本の高校生のように、スマホを使って写真を撮ったり、音楽を聴いたりということは日本の文化とあまり変わらないと思います。大きな違いといえば、やはり食文化ではないでしょうか。生ものが苦手、主食は米類よりもパンを好んで食べていました。また、ドイツでは普通の「水」ではなく、炭酸水を飲むため、常に炭酸水を用意していました。

**Q 今後、国際理解を深めるにあた**

**り必要だと思うことやチャレンジしたいことがありますか**

2020年は東京オリンピック・パラリンピックで多くの外国人が日本を訪れることが予想されます。そして、私たちもさまざまな国の言葉や文化を感じるようになるでしょう。そこで大事なことはお互いの文化に興味を持ち、積極的に接していくことだと思います。そうすることで、言葉が通じなくても気持ちは伝わりやすし、自分自身の経験値としてプラスになることがあると思います。

**Q その他、何かお話しただけのことがあればお願いします**

青梅市とポツパルト市との姉妹都市関係は青少年の文化交流としてとても恵まれた環境にあります。ホームステイから3か月が経ちましたが、今でもSNSやメールで連絡を取り合っています。今回のホームステイによる彼女たちとの出会いは、私のみならず家族にとっても貴重な時間となりました。



すずき まりこ  
鈴木真理子社長

## 市内企業 レポート

### emanation Dance Studio(エマネーションダンススタジオ) ～ダンスを通じて心も身体も育むダンススタジオ～

emanation Dance Studioの鈴木真理子社長に自社で  
取り組まれている活動についてお話をうかがいました。

#### ◆ 事業内容 ◆

おもに未就学児、小中学生を対象としてダンススクールを行っています。ただ単にダンスをすること、教えることだけでなく、目標を持つことも大事と考え、年数回イベントにも出演しています。イベント出演という目標ができることにより、それまでにダンスの振りを覚える、表現する意識が高まる、さらに各クラスのメンバーが同じ目標を持つことにより、一体感も生まれ、自然と協調性も身につけてきます。

当スタジオでは、インストラクターもおのおの経験豊富で、何百人も指導した経験が強みです。

#### ◆ 会社での取り組み ◆

スタジオでは男性、女性ともにインストラクターが生徒とコミュニケーションを取り、楽しみながらレッスンをしています。100人以上の生徒のうち、キッズ、ジュニアのメンバーが多く在籍しています。ダンスを通じて、身体を動かすことや音楽の楽しさを知ってもらうのはもちろんのこと、一つのチームでダンスを仕上げ発表する、というチームワークを学んでもらうのも重要な役割として取り組んでいます。



#### ◆ さらに技術を磨くために ◆

生徒に教えるためにはインストラクターも常に技術をみがいていく必要があります。そのためにも各インストラクターが自ら課題を探し、お互い協力しながら、切磋琢磨してダンスの技術向上に努めています。CM出演や有名アーティストのバックダンサーなど、日本のトップクラスのダンサーがいて、生徒たちの目標となれるよう頑張っています。また、生徒とダンス以外のことでもコミュニケーションを図るようにして、信頼関係を築いています。

#### ◆ 今後について ◆

今年度、青梅市主催の女性のためのビジネススクールに参加して、市内企業で活躍している異業種の女性たちと一緒に勉強をして、人的ネットワークも広げることができました。そこで学んだことを生かしながら、これからもスタジオ全体の底上げのために自分だけでなく、男性、女性インストラクターと協力しながら、「ダンスを通じて心も身体も育めるダンススタジオ」を目指していきたいと思っています。

emanation Dance Studio(エマネーションダンススタジオ)  
(河辺町8丁目)

設立 2008年

従業員数 11人(男性5人/女性6人)

小中学生対象のダンススクール

<https://emanation-dancestudio.com/>

## 相談窓口の案内

	相 談 先	内 容
女性 の 相 談	東京ウィメンズプラザ Tel. 03-5467-2455 毎日 9:00～21:00 (年末年始は休み)	女性の総合相談 ドメスティック・バイオレンス、夫婦・親子の問題、生き方や職場の人間関係など(就職活動の支援は行っていません)
	東京都女性相談センター 多摩支所 Tel. 042-522-4232 月～金曜日 9:00～16:00(土・日曜日、祝日、年末年始は休み)	
	青梅市役所 Tel. 0428-22-1111 月～金曜日 8:30～17:00(土日祝日、年末年始は休み)	
	青梅警察署 Tel. 0428-22-0110 緊急の場合 110番通報	
女性 の 就 職	マザーズハローワーク立川 Tel. 042-529-7465 月～金曜日 9:00～16:00(土・日曜日、祝日は休み)	専属の担当相談員による女性の就職活動全般の相談(キッズスペースなど併設)

### 男性のための悩み相談

東京ウィメンズプラザ Tel. 03-3400-5313 電話相談 月・水曜日 17:00～20:00(祝日、年末年始は休み)  
夫婦や親子の問題、生き方・職場の人間関係、セクシャルハラスメントやDV、デートDVなどの暴力の問題など、男性の抱えるさまざまな悩みに男性相談専門の相談員が対応

# 行ってきました



閉講式出席者のみなさん

## 青梅市国際理解講座 外国人日本語講座

青梅市に暮らす外国の人たちは、日本語をどのように学び、生活しているのでしょうか。青梅市国際理解講座 日本語講座の閉講式と懇親会にうかがって、受講生や講師にお話をお聞きしました。

### 外国人日本語講座とは

日本語を学びたい市内在住、在勤の外国人のために青梅市教育委員会により毎年開かれていた講座です。

5月に開講し、11月下旬までの毎週水曜日の午前中2時間、日本語の学習をしています。(7・8月は夏休みです)東青梅駅前の東青梅センタービル3階「青梅市国際理解講座」内が教室です。テキスト代(3080円)以外、費用はかかりません。

また、託児もついているので、小さい子どもがいても安心して学習できます。

### 募集は「広報おうめ」で

毎年「広報おうめ」4月1日号と8月1日号に受講生の募集記事が載ります。記事がきっかけだけでなく、転入手続きをするとき市役所の窓口で紹介されたり、知人から紹介されたりすることも多いようです。

### ベテランの講師と楽しい授業

日本語講座は初級クラスと中級クラスに分かれていて、それぞれ17回のカリキュラムが組まれています。今年度の受講生は併せて11人、修了証を受けたのは7人とのことでした。毎週課題や宿題があるので、受講生の努力は大変だと思いますが、一人ひとりの受講生に寄り添ってベテランの講師二人が講座を進めてきました。講師の話からは臨機応変に工夫された講座や活発なクラスの様子とうかがえました。



2019年11月16日、東青梅センタービル3階、閉講式でのスピーチの様子

閉講式では、最後に二人の受講生の日本語スピーチがありました。

### 和気あいあいの懇親会

緊張の面持ちながら、はつきりと自分の言葉で日本語スピーチをする姿が、印象的でした。日本語を覚えたことで友人とコミュニケーションが取れるようになったことや日々の生活がより充実したことなどうれしいお話を聞くことができました。また、講師のお話一つひとつからも受講生がこれまで熱心に学習に取り組んできたことが伝わってきました。



懇親会

閉講式の後は受講生お手製の見事なお国料理が並んだ懇親会となりました。フィリピン、タイ、中国、韓国料理と次々に並び、料理上手な受講生が多いと感心しました。食事をはさんで、お互いに打

ち解けて話しもはずみ、受講生皆さんの日本語の会話力にまた驚きました。

日本人と結婚して来日した女性によると、家庭では日本料理とお国の料理を両方頑張って作っているそうです。また子どもを連れた受講生が多く、親子で楽しく日本語で会話する姿も見受けられました。

講座は続けて受講できるので、通年の努力で力をつけているのはすばらしいことだと思いました。

### これからのひと

日本語での日常会話はできるようになっても、子どもが小学生になると学校から配布されるプリントを理解することが難しいので、読み書きの勉強をもっとしていきたい。子どもは日本語がどんどん上手になって、親の国の言葉を忘れていってしまうので、こちらの言葉や文化もしっかり伝えていきたい。受講生の皆さんはとても意欲的で勉強熱心で

した。そして青梅がとても気に入って、他所には住みたくないという人もいました。

日本語講座は日本人スタッフの皆さんと講師の熱意があふれています。

もし周りに日本語を話す、読む、書くに困っていたり、日本語を話す、読む、書くがもつと上手になりたいと願っている外国人を見かけたら、この講座を紹介してみてもどうでしょうか。

### 外国人のための日本語講座 ～Japanese class for foreigners～

日時：5月20日～11月中旬の水曜日 午前10時～12時  
(7、8月休講)

Time: 10a.m.～12a.m. on Wednesdays from May 20th to Nov. 7th (except July & Aug.)

会場：東青梅センタービル3階

Place: Higashi - Ome Center - building 3F

問い合わせ：青梅市国際理解講座事務局0428-25-1015

Contact: Office of International Understanding  
Course in Ome-City Tel.0428-25-1015

DVD

「ラーメンガール」

ロバート・アラン・アッカーマン監督/  
ワナー・ブラザース/2009年/101分



恋人のイーサンを追いかけて東京にやってきたアビー。ところがイーサンは仕事にかこつけて関西に行ってしまいました。言葉の通じない異国で傷心のアビーを慰めてくれたのは1杯のラーメンでした。ラーメンの味に感動したアビーは、ラーメン店店主の前任に頼み込み、弟子にしてもらいます。ところが言葉も考え方も違う二人は何かと衝突を繰り返します。それでも1年近く修行をしたアビーは作り方をマスターするものの、何か足りません。そんななか、ライバル店との弟子対決が行われることになりました。

「日本のモノづくり力はやっぱり凄い」

ロム・インターナショナル/  
河出書房新社

カニカマの誕生は中国からクラゲの輸入がストップしたため始めた人工クラゲの開発がきっかけでした。注射の痛みから小さな子どもを解放してあげたい、という思いから痛くない注射針、ほかにインスタントラーメン、レトルト食品、電卓、乾電池、カーナビなど、今や世界中で愛用されているこれらのものはすべて日本で発明されたものです。開発のきっかけや失敗、それを乗り越えた方法など、日本人の持つ発想力、技術力を紹介しています。





# 人のわ

喫茶ここから(青梅市本町)  
店長 風間真知子さん 43歳



風間真知子さん

以前は福祉業界にいました。生まれ親しんだここ青梅駅の周辺が、空き店舗が多くなるなか、喫茶店を引き継いで欲しいと父にいわれ、ともに喫茶店の運営をすることとなりました。

喫茶店の食材であるお肉や野菜、フルーツなどはすぐ近くにある青梅駅の商店街のお店で買うようにしています。多少金額が張る



店内の様子

ときもありませんが、その分安心して使える食材ですし、店員さんがお店にも遊びに来ていただけるので商店街の人とのつながりを大切にしています。

喫茶店は小さな子ども連れのご家族が来やすいようにキッズスペースや絵本を完備しています。

スタッフには子育て経験のある女性も多いので、子どもとの接し方には慣れていきます。子どもも保護者もゆったりと時間を過ごしていただけます。私も3人の子どもを育てながら、小さな子どもを育てながら、働き先を見つけることは難しいとわかります。

あえてそのような子育て中の女性を受け入れ、一緒に働くようにしています。もちろん子どものために急に休まれる事もあります。が、周りもその気持ち分かる女性同士なので、率先してサポート

しあっています。健康に気をつかったおのおの得意料理を日替わりランチとして提供しています。

休日は時折り青梅金刀比羅神社(青梅市本町)で巫女として、神事を学びながらお手伝いをしています。

私は青梅の大切な歴史、伝統を持ち、守っている今の80歳代の年長者のお話を聞くのが大好きです。

いずれはその伝統を引き継ぎ、山々に囲まれ、自然豊かなここ青梅を守る一翼を担って行けたらと思っています。

最近ではイベントにも力をいれ、喫茶店の一部を変えて演奏会やヨガ教室など多種多様なイベントを企画しています。何かワクワクする企画をしてみたい人がいましたらお気軽にご連絡ください。

## 編集後記

- 海外から来た人が安心して楽しく学べる青梅市の日本語講座を、もっと広めていきたいと思いました。(み)
- ダンスを通して小さいころからチームワークを学び、一体感が生まれ、協調性も身につく体験ができる場があることは素晴らしいと思いました。(い)
- 日本に暮らす外国の人を取材してわかったのは、子育てや家庭についての悩みは同じだということでした。地元の人よりも青梅暮らしを満喫している姿に、うれしく感じました。(に)
- 地域のつながり、人とのつながり、これからもつながりの輪を大切にしていける人が増えればよいなと思いました。(よ)

### ※お詫びと訂正

「よつばの手紙」21号3P上段うしろから3行目「防災とセットで」を「防犯講習会とあわせて」に、お詫びして訂正します。

よつばの手紙 第22号

発行 2020(令和2)年3月 青梅市市民安全部市民活動推進課

電話 0428-22-1111 内線 2321

編集 男女平等情報紙編集委員会 (三好貴子 岩波直樹 西村純子 吉野知喜)

よつばの手紙は「青梅市男女平等推進計画」にもとづき、男女平等参画の実現を目指し、編集・発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。